



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月10日

上場会社名 東急不動産ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3289 URL <https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大隈 郁仁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 西村 和浩 TEL 03-6455-0834
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	601,231	2.9	44,336	△0.4	36,159	△4.1	20,796	△12.8
2019年3月期第3四半期	584,375	△4.0	44,496	△19.1	37,687	△22.1	23,848	△18.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 25,668百万円 (25.0%) 2019年3月期第3四半期 20,533百万円 (△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.92	—
2019年3月期第3四半期	37.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	2,562,770	585,763	22.5	800.59
2019年3月期	2,405,249	568,698	23.3	780.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 575,643百万円 2019年3月期 561,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	8.00	15.50
2020年3月期	—	8.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930,000	3.1	82,000	2.2	71,000	0.4	39,000	4.1	54.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料13ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	719,830,974株	2019年3月期	719,830,974株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	803,598株	2019年3月期	802,759株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	719,027,901株	2019年3月期3Q	641,098,916株

(注) 当社は、当社及び当社子会社の取締役等に対する「役員向け株式交付信託」を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、2020年2月10日に弊社ウェブサイトへ掲載する予定です。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,012億円（対前第3四半期+2.9%）、営業利益443億円（同△0.4%）、経常利益362億円（同△4.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益208億円（同△12.8%）となりました。

オフィス市況・マンション市況が引き続き底堅く推移する中、住宅事業セグメントにおける分譲マンションの計上戸数の増加等に伴い増収となる一方で、ウェルネス事業セグメントにおける前期に開業した施設の共有持分計上の反動減等により減益となりました。

都市事業セグメントにおける投資家向けビル等の売却、住宅事業セグメントにおける分譲マンションの引渡し及びウェルネス事業セグメントにおける物件売却等を第4四半期に予定していることから、通期予想に対する進捗率は低くなっておりませんが、当期の業績は通期予想に対して順調に推移していると判断しております。

表中の前第3四半期は2018年4月1日から2018年12月31日、当第3四半期は2019年4月1日から2019年12月31日までの期間です。

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	通期予想	進捗率 (%)
売上高	5,844	6,012	169	9,300	64.6
営業利益	445	443	△2	820	54.1
経常利益	377	362	△15	710	50.9
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	238	208	△31	390	53.3

四半期別売上高・営業利益（累計）

(億円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2020年3月期 売上高	1,865	4,125	6,012	—
2019年3月期 売上高	1,743	4,026	5,844	9,019
2020年3月期 営業利益	112	317	443	—
2019年3月期 営業利益	118	322	445	802

セグメント別では、住宅事業、管理事業、ハンズ事業の3つのセグメントが増収増益、仲介事業セグメントが増収減益、都市事業セグメントが減収増益、ウェルネス事業、次世代・関連事業の2つのセグメントが減収減益となっております（対前第3四半期）。

売上高

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	通期予想	進捗率 (%)
合計	5,844	6,012	169	9,300	64.6
都市	1,663	1,518	△145	2,573	59.0
住宅	450	701	251	1,320	53.1
管理	1,233	1,383	151	1,945	71.1
仲介	838	853	15	1,217	70.1
ウェルネス	883	817	△66	1,206	67.8
ハンズ	744	753	10	1,014	74.3
次世代・関連事業	268	228	△39	369	61.9
全社・消去	△234	△242	△8	△343	—

営業利益

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	通期予想	進捗率 (%)
合計	445	443	△2	820	54.1
都市	316	328	12	500	65.6
住宅	△10	24	33	78	30.5
管理	54	55	2	94	59.2
仲介	96	89	△7	152	58.4
ウェルネス	32	15	△18	72	20.2
ハンズ	7	8	0	13	63.1
次世代・関連事業	3	△15	△18	△7	—
全社・消去	△53	△60	△7	△81	—

① 都市事業

売上高は1,518億円（対前第3四半期△8.7%）、営業利益は328億円（同+3.9%）となりました。

投資家向けのビル等売却収益の減少等により減収となる一方で、渋谷ソラスタ等の新規稼働物件の寄与等により増益となりました。

なお、空室率（オフィスビル・商業施設）は0.4%と引き続き低水準を維持しています。オフィス市況は引き続き堅調に推移しており、下記の主な開業物件については、全物件でリーシングが完了しております。

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期	通期予想
売上高	1,663	1,518	△145	2,564	2,573
営業利益	316	328	12	499	500

売上高内訳

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期
賃貸（オフィスビル）	276	306	29	368
賃貸（商業施設）	312	321	10	415
資産運用等	433	230	△203	899
住宅賃貸等	642	661	19	882

空室率（オフィスビル・商業施設）

2017年3月期末	2018年3月期末	2019年3月期末	当第3四半期末
2.0%	0.5%	0.4%	0.4%

主な開業物件（2020年3月期開業物件）

	用途	竣工時期	延床面積
渋谷ソラスタ	オフィス	2019年3月	47千㎡
なんば元町一丁目プレイス	ホテル	2019年5月	5千㎡
キュープラザ池袋	商業・映画館	2019年7月	17千㎡
神保町北東急ビル	オフィス	2019年7月	11千㎡
渋谷フクラス	オフィス・商業	2019年10月	59千㎡

② 住宅事業

売上高は701億円（対前第3四半期+55.8%）、24億円の営業利益となりました。

分譲マンションの計上戸数増加等により増収増益となりました。販売については引き続き堅調に推移しており、完成在庫は前期末から減少、マンションの通期売上予想に対する契約済み割合も、期首の54%から90%（同△0P）となり、通期予想に対して順調に進捗しております。

なお、分譲マンションは「ブランズ円山外苑前」（北海道札幌市）、「ブランズタワー羽衣」（大阪府高石市）、「ドレッセ横浜十日市場」（神奈川県横浜市）等を計上いたしました。

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期	通期予想
売上高	450	701	251	1,214	1,320
営業利益	△10	24	33	54	78

売上高内訳

(億円)

	前第3四半期		当第3四半期		比較	前期	
	611戸	309	928戸	501		1,266戸	861
マンション	611戸	309	928戸	501	192	1,266戸	861
戸建	99戸	17	13戸	5	△12	111戸	22
その他	—	124	—	195	70	—	331

供給販売戸数

	前第3四半期		当第3四半期		完成在庫数	
	新規供給戸数	契約戸数	新規供給戸数	契約戸数	2019年3月期末	当第3四半期末
マンション	1,179戸	1,223戸	1,813戸	1,635戸	497戸	340戸
戸建	51戸	49戸	9戸	12戸	7戸	4戸

③ 管理事業

売上高は1,383億円（対前第3四半期+12.2%）、営業利益は55億円（同+2.8%）となりました。

（株）東急コミュニティーにおけるマンション及びビル等の管理ストック拡大による管理収益の増加に加え、工事売上が増加したこと等により増収増益となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、戸建リフォーム工事が次世代・関連事業セグメントから移管されており、下記売上高内訳では「マンション」に含まれております。

また、2019年12月末のマンション管理ストックは844千戸（うち総合管理戸数526千戸）と着実に拡大しております。

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期	通期予想
売上高	1,233	1,383	151	1,739	1,945
営業利益	54	55	2	86	94

売上高内訳

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期
マンション	834	916	83	1,173
ビル等	399	467	68	566

期末管理物件数

	2017年3月期末	2018年3月期末	2019年3月期末	当第3四半期末
マンション(戸)	741,624	822,231	831,684	843,701
ビル(件)	1,483	1,500	1,540	1,555

④ 仲介事業

売上高は853億円（対前第3四半期+1.8%）、営業利益は89億円（同△7.1%）となりました。

東急リパブル(株)の売買仲介において、リテール部門・ホールセール部門共に取引件数及び取扱高が増加したこと等により増収となる一方で、前期に計上した高利益率物件の売却の反動減等により減益となりました。

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期	通期予想
売上高	838	853	15	1,189	1,217
営業利益	96	89	△7	139	152

売上高内訳

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期
売買仲介	404	421	18	577
販売受託	18	20	2	33
不動産販売	401	398	△3	557
その他	15	13	△2	21

⑤ ウェルネス事業

売上高は817億円（対前第3四半期△7.5%）、営業利益は15億円（同△55.3%）となりました。

前期に開業したリゾート施設や都市型ホテル等が通期稼働となった一方で、2018年7月に開業した「東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA」（長野県北佐久郡）の共有持分計上の反動減等により減収減益となりました。

なお、シニア住宅の新規施設として2019年4月に「クレールレジデンス横浜十日市場」（神奈川県横浜市）が開業いたしました。また都市型ホテルにおいては、「東急ステイ金沢」（石川県金沢市）、「東急ステイ沖縄那覇」（沖縄県那覇市）及び「東急ステイ大阪本町」（大阪府大阪市）の3施設の開業を2020年2月に予定しております。

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期	通期予想
売上高	883	817	△66	1,239	1,206
営業利益	32	15	△18	79	72

売上高内訳

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期
リゾート運営	275	293	18	413
オアシス	132	145	12	179
シニア住宅	59	74	15	79
東急ステイ	102	116	13	133
福利厚生代行	73	76	3	97
別荘・会員権販売	190	46	△144	262
その他	52	67	15	76

※第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていたリゾートホテルを「リゾート運営」に移管、リゾートに関わる不動産流通事業を「販売」に移管しており、「前第3四半期」及び「前期」の数値も同様に組み替えております。

⑥ ハンズ事業

売上高は753億円（対前第3四半期+1.3%）、営業利益は8億円（同+6.0%）となりました。

㈱東急ハンズにおいては、既存店が減収（同△0.1%）の一方で新規店舗の寄与等により増収、既存店の寄与等により増益となりました。

なお、新規店舗として2019年4月と8月に海外4・5店舗目となる「東急ハンズジュエル店」及び「東急ハンズパヤレバ店」（共にシンガポール）、9月に「東急ハンズ浜松店」（静岡県浜松市）、11月に「渋谷スクランブルスクエア店」（東京都渋谷区）が開業いたしました。

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期	通期予想
売上高	744	753	10	974	1,014
営業利益	7	8	0	8	13

⑦ 次世代・関連事業

売上高は228億円（対前第3四半期△14.7%）、15億円の営業損失となりました。

インドネシアの分譲マンションである「BRANZ SIMATUPANG」と「BRANZ BSD」の計上があった一方で、第1四半期連結会計期間より戸建リフォーム工事を管理事業セグメントに移管したことや、海外事業での物件売却の反動減等により、減収減益となりました。

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期	通期予想
売上高	268	228	△39	416	369
営業利益	3	△15	△18	9	△7

売上高内訳

(億円)

	前第3四半期	当第3四半期	比較	前期
海外事業等	46	97	52	93
注文住宅	142	57	△86	194
造園建設	79	74	△5	130

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末においては、資産の部で開発中のプロジェクトの進捗による固定資産や仕掛販売用不動産の増加等から前期末より合計1,575億円増加、負債の部でも有利子負債の増加等から前期末より合計1,405億円増加しております。

(億円)

	前第3四半期末	当第3四半期末	(参考) 2019年3月期末	2020年3月期末 予想
総資産	23,388	25,628	24,052	
総負債	17,842	19,770	18,366	
純資産	5,546	5,858	5,687	
うち自己資本	5,471	5,756	5,614	
自己資本比率	23.4%	22.5%	23.3%	
期末有利子負債	13,174	14,834	12,898	13,800
DEレシオ	2.4倍	2.6倍	2.3倍	2.3倍

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	経常利益 (億円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (億円)
通期	9,300	820	710	390

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)54円24銭

2019年11月8日発表の業績予想の変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	185,091	91,664
受取手形及び売掛金	33,766	30,902
有価証券	17,480	27,128
商品	12,107	13,931
販売用不動産	229,459	282,024
仕掛販売用不動産	331,980	406,483
未成工事支出金	6,564	8,338
貯蔵品	791	831
その他	55,585	63,512
貸倒引当金	△88	△81
流動資産合計	872,740	924,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	413,188	476,609
減価償却累計額	△190,587	△197,120
建物及び構築物（純額）	222,601	279,488
土地	722,691	785,461
建設仮勘定	129,299	91,955
その他	75,660	82,897
減価償却累計額	△44,051	△46,822
その他（純額）	31,608	36,075
有形固定資産合計	1,106,201	1,192,981
無形固定資産		
のれん	77,131	73,065
その他	36,162	37,886
無形固定資産合計	113,294	110,951
投資その他の資産		
投資有価証券	180,720	200,791
敷金及び保証金	89,310	88,723
その他	42,986	44,674
貸倒引当金	△359	△336
投資その他の資産合計	312,657	333,852
固定資産合計	1,532,153	1,637,785
繰延資産		
株式交付費	355	248
繰延資産合計	355	248
資産合計	2,405,249	2,562,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,765	34,431
短期借入金	163,275	185,132
1年内償還予定の社債	20,000	30,000
コマーシャル・ペーパー	—	110,000
未払法人税等	14,179	7,207
引当金	15,846	8,564
その他	176,683	132,347
流動負債合計	435,750	507,682
固定負債		
社債	185,825	185,825
長期借入金	920,707	972,395
長期預り敷金保証金	197,598	201,105
退職給付に係る負債	29,262	29,497
引当金	76	91
その他	67,331	80,410
固定負債合計	1,400,801	1,469,324
負債合計	1,836,551	1,977,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	77,562	77,562
資本剰余金	166,675	166,678
利益剰余金	298,411	307,694
自己株式	△367	△367
株主資本合計	542,281	551,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,183	21,514
繰延ヘッジ損益	△1,066	△412
土地再評価差額金	8,067	8,067
為替換算調整勘定	△1,304	△3,576
退職給付に係る調整累計額	△1,754	△1,517
その他の包括利益累計額合計	19,124	24,076
非支配株主持分	7,292	10,120
純資産合計	568,698	585,763
負債純資産合計	2,405,249	2,562,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	584,375	601,231
営業原価	459,727	469,456
営業総利益	124,648	131,775
販売費及び一般管理費	80,151	87,438
営業利益	44,496	44,336
営業外収益		
受取利息	101	139
受取配当金	602	414
その他	561	475
営業外収益合計	1,265	1,030
営業外費用		
支払利息	6,884	7,531
その他	1,190	1,676
営業外費用合計	8,074	9,207
経常利益	37,687	36,159
特別損失		
災害による損失	474	919
その他	37	282
特別損失合計	512	1,201
税金等調整前四半期純利益	37,175	34,957
法人税等	14,107	14,227
四半期純利益	23,068	20,730
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△780	△66
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,848	20,796

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	23,068	20,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△530	6,331
繰延ヘッジ損益	△807	650
為替換算調整勘定	△1,950	△229
退職給付に係る調整額	408	237
持分法適用会社に対する持分相当額	345	△2,052
その他の包括利益合計	△2,534	4,938
四半期包括利益	20,533	25,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,358	25,748
非支配株主に係る四半期包括利益	△824	△80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	都市	住宅	管理	仲介	ウェルネス	ハンズ	次世代・ 関連事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高									
外部顧客に対する 売上高	163,808	44,910	111,743	77,863	87,815	73,816	24,417	—	584,375
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,486	109	11,525	5,900	518	544	2,348	△23,432	—
計	166,294	45,020	123,268	83,763	88,334	74,360	26,766	△23,432	584,375
セグメント利益 (△損失)	31,558	△951	5,388	9,560	3,246	746	259	△5,312	44,496

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	△471
のれんの償却額	△1,866
全社費用 ※	△2,974
合計	△5,312

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	都市	住宅	管理	仲介	ウェルネス	ハンズ	次世代・ 関連事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高									
外部顧客に対する 売上高	148,009	70,015	123,126	83,495	81,266	74,651	20,666	—	601,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,799	120	15,215	1,782	453	672	2,174	△24,218	—
計	151,808	70,136	138,341	85,277	81,720	75,323	22,840	△24,218	601,231
セグメント利益 (△損失)	32,780	2,372	5,540	8,880	1,450	790	△1,502	△5,976	44,336

(注) 1. セグメント利益(△損失)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	△446
のれんの償却額	△1,866
全社費用 ※	△3,663
合計	△5,976

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益(△損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。